

# 資 料 編

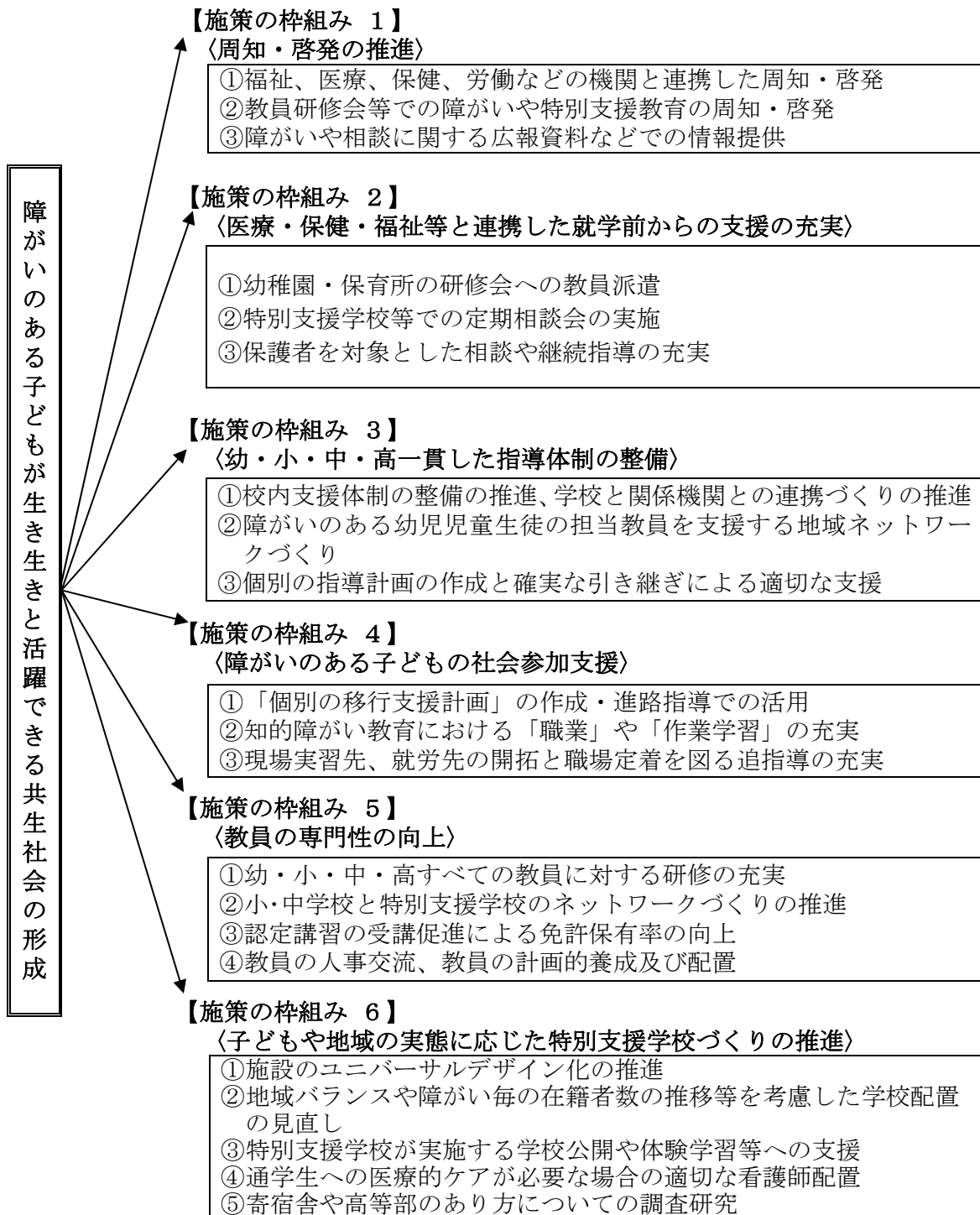
【別紙 1】	山形県特別支援教育推進プラン 抜粋	p 1
【別紙 2】	小・中学校、高等学校 特別支援教育コーディネーターについて	p 4
【別紙 3】	山形県立山形盲学校専門性研修	p 5
【別紙 4】	派遣研修について	p 9

山形県特別支援教育推進プラン（平成20年10月） 抜粋

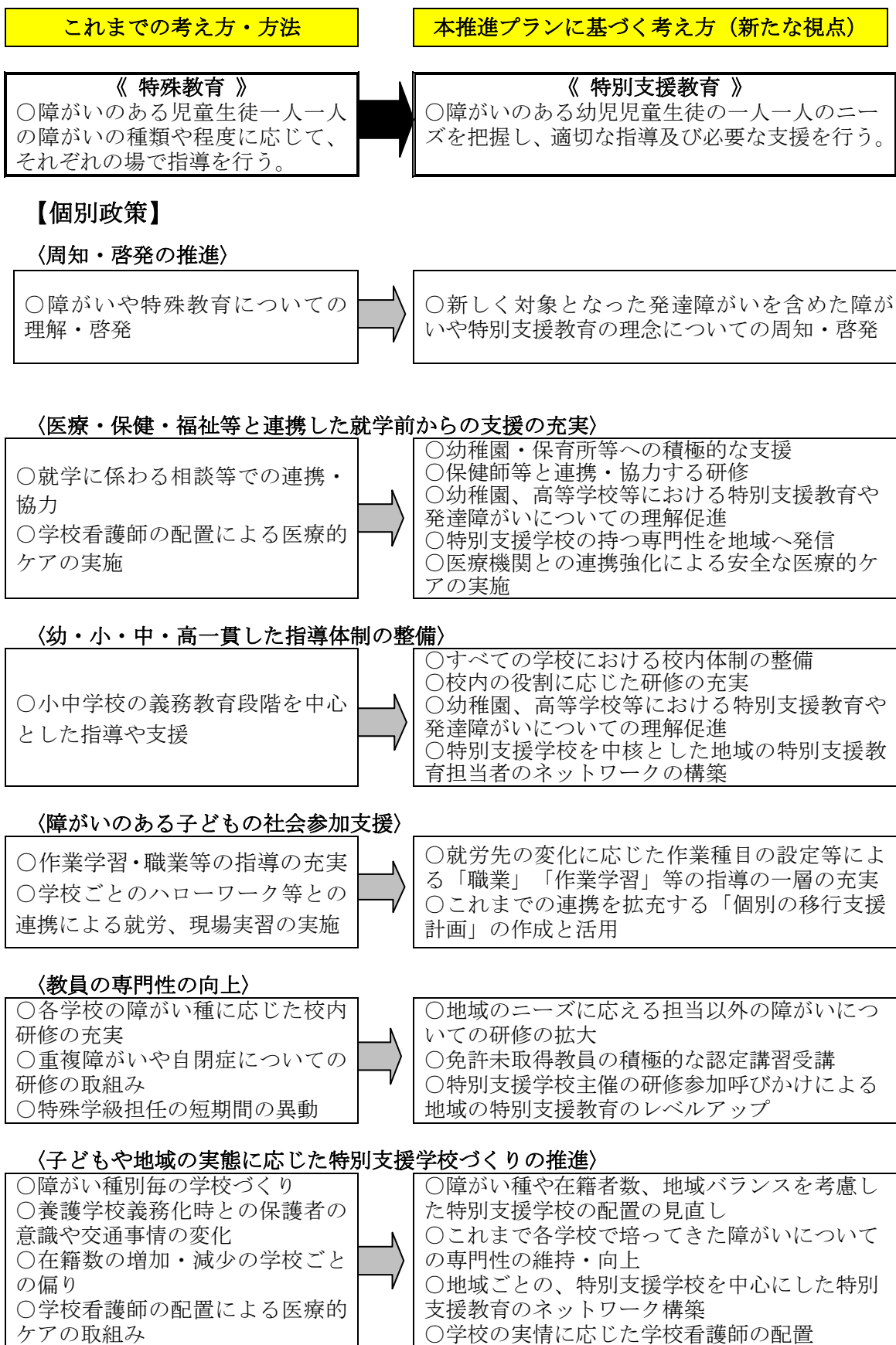
○ 施策の展開内容

< 施策体系図 >

施 策 一 覧



<参考 施策展開の考え方（視点）の構図>



## 【施策の枠組み5 教員の専門性の向上】

### 【基本的な考え方】

- 教員のライフステージに応じた各種研修会の中で、特別支援教育に対する理解の促進と専門性の向上を図ります。
- 管理職、特別支援教育コーディネーター、担任等、職や校務分掌に応じた専門性の向上を図ります。

### 【具体的な取組み】

- ① 幼・小・中・高等学校すべてに関係する発達障がいを中心に、障がいのある子どもの理解、接し方の基本等についての情報を発信し、研修の充実に向けた支援を行います。
- ② 特別支援学級の増加に対応し、特別支援学校が取り組んでいる地域の特別支援学級担任等を対象とする研修会の充実を図るとともに、地域の小・中学校が特別支援学校を積極的に活用できるよう、ネットワークづくりに努めます。
- ③ 専門性の向上を図るため、校長会と連携し、特別支援学校の免許状を保有しない教員に認定講習受講を促し、免許状保有率を高めます。
- ④ 小・中・高等学校と特別支援学校との人事交流を図り、各地域毎に障がいのある児童生徒の指導や教育相談の中核となる教員を計画的に養成、配置するよう努めます。
- ⑤ 県教育センターにおける特別支援教育関係の研修講座及び教育関係資料の充実に努めます。

## 小・中学校、高等学校 特別支援教育コーディネーターについて

## 1 小・中学校 特別支援教育コーディネーターについて

	平成20年度		平成21年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
教頭	57	11.1%	53	9.9%
養護教諭・養護助教諭	44	8.5%	52	9.7%
教諭	405	78.6%	420	78.7%
講師	9	1.7%	9	1.7%
合計	515	100.0%	534	100.0%

## ○上記「教諭」「講師」の内訳(担任)

	平成20年度		平成21年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
通常の学級の担任	110	21.8%	101	21.1%
特別支援学級の担任 通級指導担当者	191	37.8%	222	46.4%
担任外	204	40.4%	155	32.4%
合計	505	100.0%	478	100.0%

※教務主任 74名(担任・担任外)

## ○上記「教諭」「講師」が兼務する校務分掌

	平成20年度		平成21年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
教務主任	69	13.4%	77	13.6%
教育相談担当	155	30.2%	166	29.3%
生徒指導担当	34	6.6%	33	5.8%
なし(コーディネーターのみ)	93	18.1%	97	17.1%
その他	163	31.7%	193	34.1%
合計	514	100.0%	566	100.0%

※1名が複数の校務分掌を兼務しているため、コーディネーター総数を上回っている。

※ 特別支援教育コーディネーター複数配置校数

小学校・・・74校 中学校・・・9校

## 2 県立高等学校 特別支援教育コーディネーターについて

	平成20年度		平成21年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
教頭	3	5.0%	1	1.6%
養護教諭・養護助教諭	4	6.7%	4	6.6%
教諭	53	88.3%	55	90.2%
講師	0	0.0%	1	1.6%
合計	60	100.0%	61	100.0%

※ 特別支援教育コーディネーター複数配置校数 3校(平成20年度は2校)

特別支援教育コーディネーターの指名状況について

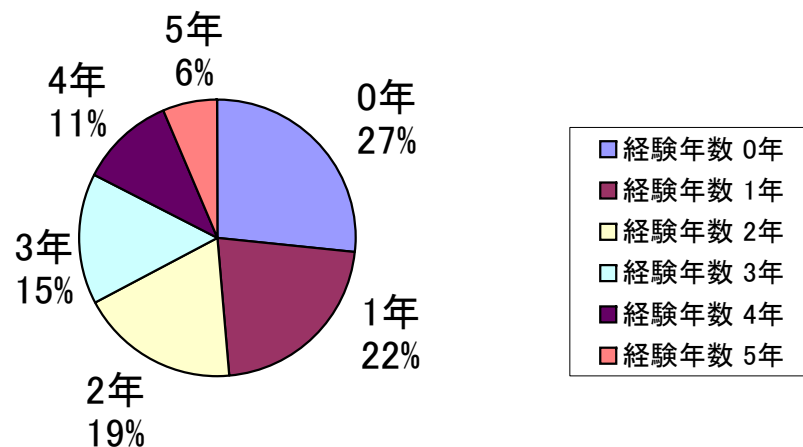
地区	人数	学校	経験年数						校長	教頭	教諭	養護教諭	養護助教諭	講師	教務主任	通常学級	特別支援関係	担外	?	教務	教育相談	生徒指導	コーディネィのみ	その他	複数配置校数			
			0年	1年	2年	3年	4年	5年																		特支	通級	
村山地区	172	小学校	43	37	34	25	19	14	0	14	139	11	0	2	24	40	66	6	36	0	24	39	15	28	62	0	34	6年目6人、7年目1人
	51	中学校	20	11	7	5	5	3	0	6	42	3	0	0	4	4	18	0	26	0	4	16	4	12	15	0	2	
最上地区	41	小学校	10	12	5	5	7	2	0	1	28	11	0	3	5	10	16	12	13	0	5	18	4	2	20	0	3	
	14	中学校	5	6	1	0	0	2	0	0	12	2	0	0	0	1	8	0	5	0	0	1	0	10	3	0	0	
置賜地区	83	小学校	29	15	13	12	9	5	0	9	71	1	0	2	22	13	29	6	14	0	24	26	5	13	25	0	16	6年目1人、7年目1人
	35	中学校	9	7	9	6	3	1	0	3	27	5	5	0	3	4	11	0	17	0	4	11	1	7	15	0	4	
庄内地区	107	小学校	25	25	23	19	10	5	0	18	75	11	2	1	13	23	38	3	32	0	13	48	4	12	44	0	21	
	29	中学校	12	8	6	0	2	1	0	2	26	1	0	1	3	6	9	0	12	0	3	7	0	13	9	0	3	
合計	403	小学校	107	89	75	61	45	26	0	42	313	34	2	8	64	86	149	27	95	0	66	131	28	55	151	0	74	
	129	中学校	46	32	23	11	10	7	0	11	107	11	5	1	10	15	46	0	60	0	11	35	5	42	42	0	9	

地区	人数	小学校	経験年数						校長	教頭	教諭	養護教諭	養護助教諭	講師	教務主任	通常学級	特別支援関係	担外	?	教務	教育相談	生徒指導	コーディネィのみ	その他			
			0年	1年	2年	3年	4年	5年																	特支	通級	
合計	403		107	89	75	61	45	26	0	42	313	34	2	8	64	86	149	27	95	0	66	131	28	55	151	0	
	100.0%		26.6%	22.1%	18.6%	15.1%	11.2%	6.5%		10.4%	77.7%	8.4%	0.5%	2.0%	19.9%	26.8%	46.4%	8.4%	29.6%		20.6%	40.8%	8.7%	17.1%	47.0%		

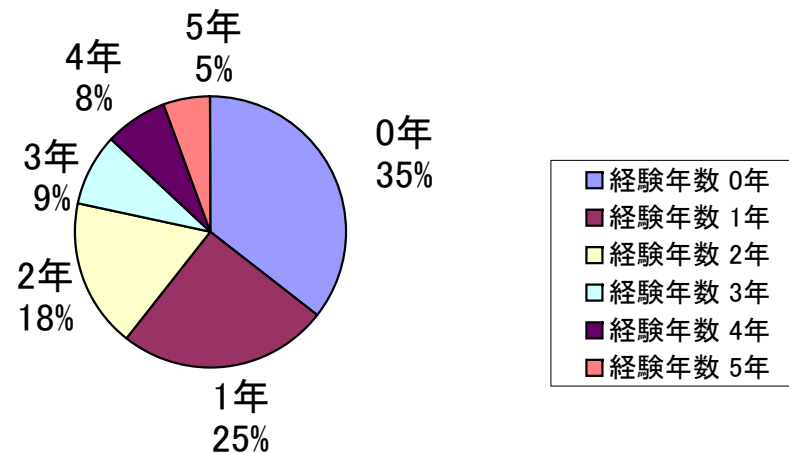
地区	人数	中学校	経験年数						校長	教頭	教諭	養護教諭	養護助教諭	講師	教務主任	通常学級	特別支援関係	担外	?	教務	教育相談	生徒指導	コーディネィのみ	その他			
			0年	1年	2年	3年	4年	5年																	特支	通級	
	129		46	32	23	11	10	7	0	11	107	11	5	1	10	15	46	0	60	0	11	35	5	42	42	0	
	100.0%		35.7%	24.8%	17.8%	8.5%	7.8%	5.4%		8.5%	82.9%	8.5%	3.9%	0.8%	9.3%	13.9%	42.6%	0.0%	55.6%		10.2%	32.4%	4.6%	38.9%	38.9%		

地区	人数	小中学校	経験年数						校長	教頭	教諭	養護教諭	養護助教諭	講師	教務主任	通常学級	特別支援関係	担外	?	教務	教育相談	生徒指導	コーディネィのみ	その他			
			0年	1年	2年	3年	4年	5年																	特支	通級	
合計	532		153	121	98	72	55	33	0	53	420	45	7	9	74	101	195	27	155	0	77	166	33	97	193	0	
	100.0%		28.8%	22.7%	18.4%	13.5%	10.3%	6.2%		10.0%	78.9%	8.5%	1.3%	1.7%	17.2%	23.5%	45.5%	6.3%	36.1%		17.9%	38.7%	7.7%	22.6%	45.0%		

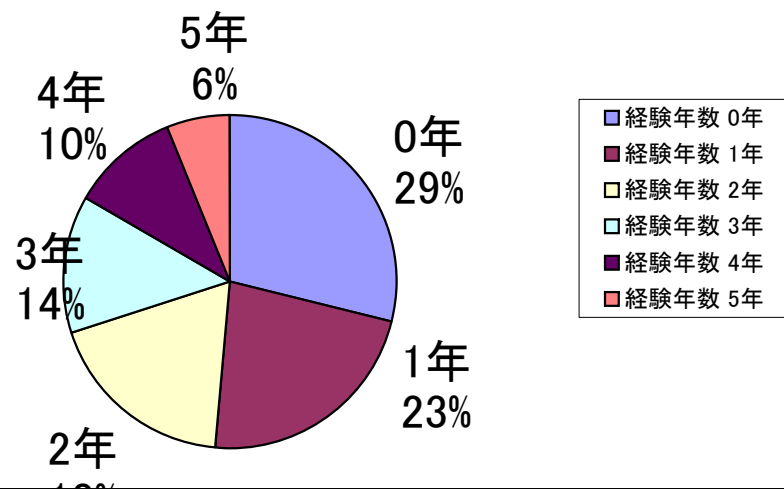
### 特別支援教育コーディネーターの 経験年数(小学校)



### 特別支援教育コーディネーターの 経験年数(中学校)



### 特別支援教育コーディネーターの 経験年数(小中学校の計)



## ＜研修について＞

本校の研修は、視覚障がいの専門性を身につけ向上することや専門的知識・技術を共有し、各自の持っている専門性を継承することをねらいとする。各カテゴリーについては以下のとおりである。

### ○ 概論研修（3時間）

盲学校へ赴任したすべての職種の新任者を対象とする。盲学校に勤務する上で知っておくべき視覚障がいの理解が内容。すべての研修の土台となるもの。講義形式。

### ○ 基礎研修（14時間）

視覚障がい教育を行う上で身につけるべき技術と知識を本講熟練者から講義形式で学ぶ研修。「専門研修チェックシート」で各自チェックし、必要だと思われる研修を選んで受けるもの。

I 段階：すべての教員が内容を知ることを目標とする。概ね5年で達成することを目安とする。「点字の基礎」「各種文書の作成」全員、習得が目標

II 段階：得意分野・必要分野の習得が目標

### ○ 専門研修（7時間）

教職員全員が一人一つ「点字、歩行、情報、弱視、重複」の中から選んで行う研修。基礎研修が講師から教わる研修であるのに対して、専門研修は課題意識を持って同じ分野に集まったもの同士で行う自主勉強的な研修。選んだ分野については、講師となりうるよう、同一分野3年継続を原則とする。研修内容は各グループで話し合って決め、グループをいくつかに分けることも可。学習指導、研修部員が運営責任者となる。

### ○ 応用研修（6時間）・・・教職員全員参加が原則

専門研修のグループ主催の研修（5時間：各グループから1時間ずつ）  
専門性を発信・共有することを目的に、グループから全体に向けて企画運営する研修。内容はグループに一任し、後期に開催する。

#### 初期指導研修（1時間）

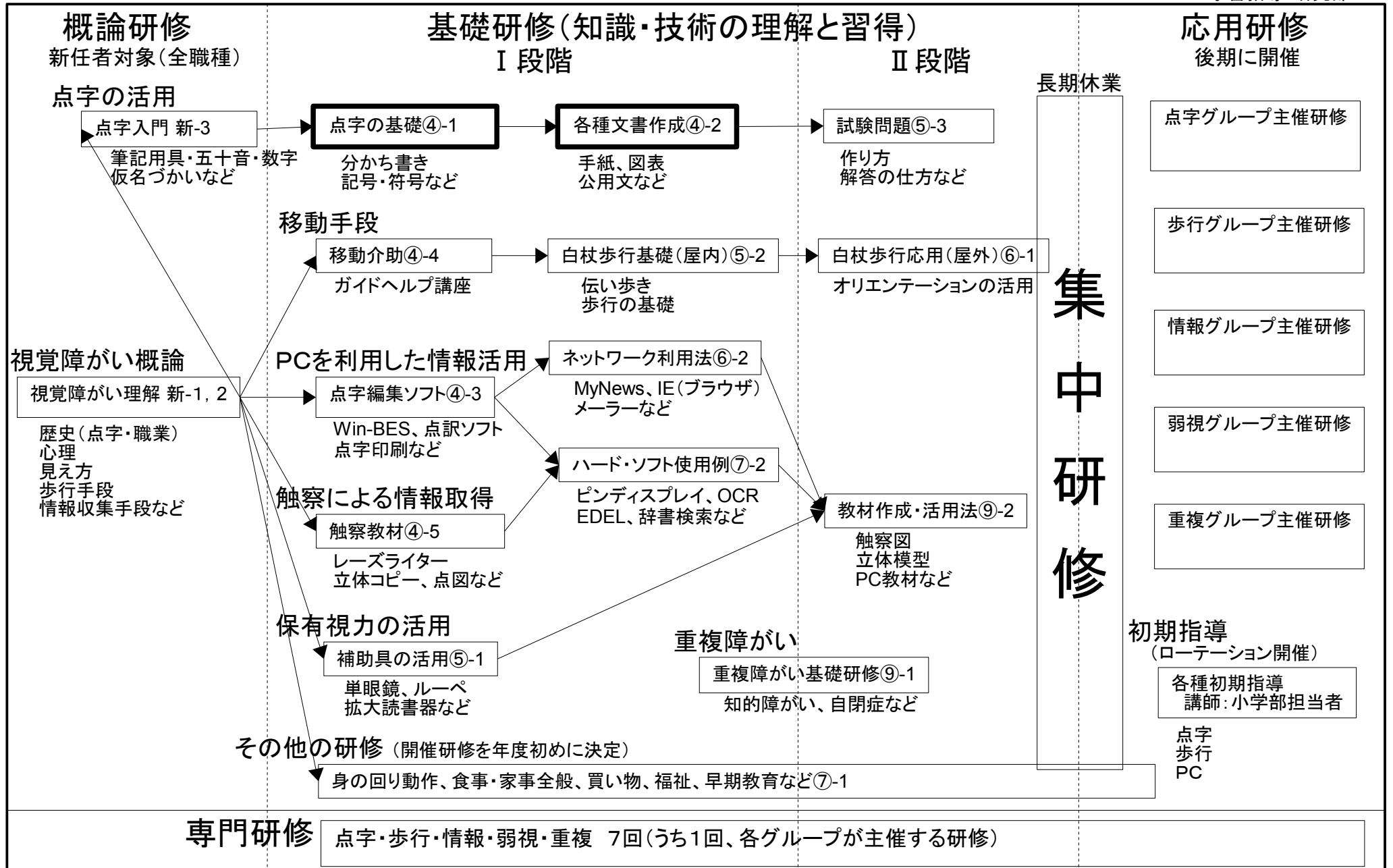
幼小学部における初期段階での指導法を継承することが目的。内容は、点字、歩行、PCなどを1年に1回ずつローテーションで取り上げる。

### ○ 集中研修（半日または1日）

半日もしくは一日など十分な時間をとって行う研修。原則、夏季休業や年末年始休業など休業中に行う。内容は、街の中での白杖歩行、電車やバスの利用、盲人の方を招いての講話や調理実習など過去の実施内容やニーズなどから決定する。



# 視覚障がい教育専門性向上のための研修フローチャート



新は新任者のみ対象。○囲み数字は開催月、その後の数字はその月内での順番を表す。点字の基礎、各種文書作成については全員が習得できるようにする。

# 専門研修チェックシート

山形県立山形盲学校  
学習指導・研究部

チェックに関して「◎はある程度できる」「○はおおむね達成した」「△は未達」で自己判断して記入してください。受講済の欄は受講の必要ない方も◎とします。

未達の方は研修には参加してください。

研修のチェック欄がすべて◎になるようがんばってください。

## 点字の基礎(基礎研修Ⅰ段階)

	受講済	五十音、数字が読み書きできる。(6点入力)	簡単な点字の文章を読み書きできる。
チェック			

## 点字各種文書作成(基礎研修Ⅰ段階)

	受講済	適切に見出しを付けて点字を書くことができ	公用文や手紙を点訳することができる。
チェック			

## 点字試験問題(基礎研修Ⅱ段階)

	受講済	点字試験問題の作り方の基本が分かる。
チェック		

## 移動介助(基礎研修Ⅰ段階)

	受講済	屋外のガイドができる。	屋内のガイドができる。
チェック			

## 白杖歩行の基礎(基礎研修Ⅰ段階)

	受講済	白杖の基本操作を説明できる。	操作法の使い分けをの基礎を知っている。
チェック			

### 白杖歩行の応用(基礎研修Ⅱ段階)

	受講済	場に応じたランドマークの設定ができる	場に応じたオリエンテーションの指示ができる
チェック			

### 点字編集ソフト(基礎研修Ⅰ段階)

	受講済	Win-BESで文書入力・保存ができる。	IBUKI-TEN、EXTRAで点訳できる。	点字プリンタで点字印刷ができる。
チェック				

### ネットワーク利用法(基礎研修Ⅰ段階)

	受講済	MyNewsの使用例を説明できる。	IEの基本操作が理解できる。
チェック			

### ハード・ソフト使用例(基礎研修Ⅰ段階)

	受講済	MyDicの使用例を説明できる。	OCRの使用例を説明できる。	EDELの基本操作が分かる。
チェック				

### 触察教材(基礎研修Ⅰ段階)

	受講済	レーザーライターの使用方法が分かる	立体コピーを作成できる	EDELを使い、点図を作ることができる
チェック				

### 補助具の活用(基礎研修Ⅰ段階)

	受講済	補助具の特性(ルーペや単眼鏡)を知っている	拡大読書器の扱い方を知っている
チェック			

### 教材作成・活用法(基礎研修Ⅱ段階)

	受講済	視覚障がい者向けのPC教材の作成と活用ができる。	触察教材(紙媒体)の作成と活用ができる。	立体模型の作成と活用ができる。
チェック				

<派遣研修について>

---

1 長期研修

- (1) 山形大学への派遣
- (2) 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所への派遣
- (3) 県教育センターへの派遣

2 文部科学省・国立特別支援教育総合研究所

- (1) 聴覚障害教育担当教員講習会
- (2) 自立教科等担当教員講習会(隔年派遣)
- (3) 発達障害教育指導者研究協議会
- (4) 特別支援教育コーディネーター指導者研究協議会
- (5) 特別支援学校教員専門性向上研究協議会
- (6) 交流及び共同学習推進指導者講習会
- (7) 教職員等中央研修講座（校長・教頭等、中堅）
- (8) 特別支援教育専門研修
- (9) 特別支援学校寄宿舎指導実践指導者研究協議会

3 山形大学大学院への派遣

---

<県教育センターでの専門研修について>

期 日	名 称
5 / 19 ~ 5 / 20	特別支援学級新担任講座 I
5 / 28 ~ 5 / 29	特別支援学級新担任講座 II
6 / 12	特別支援学校新担任基礎講座
① 6 / 19 ② 11 / 27	授業力アップ講座（特別支援学級の授業）
10 / 1 ~ 10 / 2	発達障がい児教育基礎講座